



想いはつながる～熱意と行動力で…

“Mobara みらい応援団”は地域の活性化を目指しています。

同じくメンバーであり、長生 YPC (ヤング・パワーズ・クラブ…農家の若手グループ) の一員でもある光橋さんも、「親父の世代では元気があり、地域に深いつながりがあったが、今は薄くなっている。ネットワークと機動性が必要。茂原を離れた若い世代が戻って来たいと思うような茂原でなくては…」と話していました。

Mobara みらい応援団は、ただ思うだけでなく、行動に移しました。メンバーとしての輪も広げ、ミーティングを重ね、イベントの経験者を尋ねたり、行政にも働きかけました。市内や近隣の町村を廻って、出店者や実演者を尋ねて募ることも大変な苦労だったと思います。

柔軟で、次々にアイデアが飛び出してくるような企画力、若々しい行動力に感動しました。



Mobara みらい応援団の皆さんと市民の会委員

そうした呼びかけの中で、独自に自分たちの業界を活気づけていきたいと商工観光課に働きかけている事業者などもあったそうです。

コミュニケーションをとっていくと、「元気のない茂原市を何とかしたい」と想っている人は少なくないかもしれません。

そうした想いが大きな輪になれば、本当に素晴らしいと思います。

この“茂原まるまるマルシェ”は、その第1歩として成功させたいと感じました。



継続こそ力～メンバーの声

- ・開催する側にとっては大変なエネルギーを要しますが、継続が大切。徐々に回数を増やして行って、定期市になるようにしたい。
- ・出店者が増え、ローテーション化することによって、回数ばかりでなく新鮮さや変化も盛り込んでいきたい。
- ・将来的にはこういう団体がたくさんできるとよい。



5月5日(日)
10時～16時

(雨天時は5月6日(月)に順延)

会場:茂原市役所市民広場(庁舎南側)

【主な内容】

- ・農家ブース…野菜、花など
- ・食品…パン、麺、菓子など
- ・飲食店…中華、韓国、野菜料理、お好み焼きなど
- ・カフェ、飲料…コーヒー、ワイン(紹介・試飲)など
- ・ワークショップ…アート体験、ミニコンサートなど
- ・パフォーマンス…音楽、絵本の読み聞かせなど
- ・おもちゃドクター…おもちゃの修理
- ・子育て支援…キッズルームほか



茂原まるまるマルシェ
ウェブサイト

<http://chiba-ken.jp/mmarumaruru/>

ご意見をお寄せください!

茂原市の「自治基本条例」を考えるためには、市民の皆さんがどのようなまちのあり方を望んでいるか、その考えを取り込みながら、今後のまちづくりのためにはどのような基本原則を盛り込むべきなのかを考えていくことが必要です。ぜひ、皆さんのご意見をお寄せください。

茂原市自治基本条例を考える市民の会
事務局 茂原市役所企画政策課



ケータイからもお寄せいただけます

FAX 0475-20-1603
E-mail kikaku@city.mobara.chiba.jp